

特定非営利活動法人 e7-7愛媛

No.	分類	概要	特徴	実現で困難な交遊・留意点	開展でできる必要な交遊
3	立ちゆくみどり	収穫の前、収穫活動中に行き渡る。種が落ちているのか知らず、動けない。	①特定の用途にだけ特化になる。その特定の用途が種別活動と切り離すこととなる。 ②無量な性格が多い。型にはまった生活に慣れず、商業の分野に手を届かすにくい。好奇心が少ない。 ③「型」が強く、個性を押し出すことが難しい。多様な個性がないため活動に馴染む。④社人的コミュニケーションに特に大きな困難を抱えている。	①型をゆるめて興味・関心を誘う。型に合わせた活動や参加の機会を設ける。必ずしも型を押し出す必要はない。「つまみ食い」になってしまっても構わない。多様な個性を認めることができる。	多様な個性を体験させ、自分に合った作業を見つけさせることができる。また、他のメンバーとの対応、作業の順番などにより、多様な個性を認めることができる。
4	つまみ食い型	収穫後、売上の未収又は未納の届出により自費を負担。	①特定の用途で特化になるタイプであるが、立ちゆくみどりと違い過去の経験からの活動。②積み重ねられた活動ではなく、過去の特定の経験が前提。 ③つまみ食いの販売方法が難。④手回し回転する「ワンホー」や「ひきこもり」に転化するおそれもある。	①成功体験を積み重ねることが難くなるケースが多い。②つまみ食いの販売方法が難。③手回し回転する「ワンホー」や「ひきこもり」に転化するおそれもある。	①多様な個性を体験させ、自分に合った作業を見つけさせることができる。また、他のメンバーとの対応、作業の順番などにより、多様な個性を認めることができる。
5	複合型	上記のいずれか2つ以上の類型	3の要因による場合、4の要因による場合が多い。	上記のそれぞれに該当	上記のそれぞれに該当

特定非営利活動法人 e7-7愛媛



特定非営利活動法人 e7-7愛媛

**自分たちが育てた白いもを使った
美味しい、新しい料理を考えてみる
プロジェクト**

特定非営利活動法人 e7-7愛媛